

内科専門プログラムの紹介

京都済生会病院の診療部長の中島智樹です。私は、2023 年度、全国に配信されている CareNeTV で総合内科専門医試験対策講座を担当しました。2024 年度から当院で内科専攻医を採用することになりましたのでご案内します。

当院は京都市の西に接する長岡京市に位置し、阪急西山天王山駅から徒歩 5 分の距離にあります。また、京都河原町まで 15 分、大阪梅田駅まで 30 分圏内です。2022 年 6 月に新築移転し、新しい病院で職場環境も整備され、放射線機器をはじめとしたさまざまな先端医療機器もそろえていることなど、きっと研修へのモチベーションにつながるものと考えます。

当院は、毎年少人数の初期研修医を採用し個別指導を原則にしていますが、京都府立医科大学からの依頼で、たすきがけとして研修される医師も増え、現在 9 名の初期研修医が在籍しています。そして 2024 年度からは内科専攻医を採用することになりました。当院のプログラムとして研修していただける方は 1 名です。なお当院は京都府や近隣他府県の市中病院、京都府立医科大学付属病院などさまざまな病院とも連携をとっていますので、それらの病院のプログラムに沿って研修する中で一定期間、当院において研修することも可能です。

われわれの指導で目指している理想の内科専攻医像は、ジェネスペリスト（ジェネスペ）です。1つのサブスペシャリティ（サブスペ）を専門分野としてしっかり持ち、加えてジェネラリストとしての視点も併せ持つ内科医師です。自分はジェネラルな診療を中心にやっていきたいという方やサブスペで専門医療をしていきたいという方、さまざまだと思いますが、現在の日本の内科医師数や今後の動向などを鑑みても、これら 2 つのタイプの医師が日本のどの地域にもまんべんなく配分されるようなことは無理であり、1人2役できなければ地域医療を支えていくことは難しいというのが現状です。

われわれの病院は、地域の中核病院であるという特性上、さまざまな疾患の患者さんが来院されます。私が担当した総合内科専門医試験対策講座は、すべて当院においてさまざまな医師が診断、治療した症例が基となり、私が試験傾向を分析したうえで、オリジナル問題として作成したものです。その点では、当院での研修によりさまざまなサブスペの分野の症例を多く経験できるということも言えます。しかも、それぞれのサブスペで診療にあたっている医師は、総合診療内科外来や救急外来も担当し、ジェネラリストとしての任務もこなしています。特に当院では消化器内科、肝臓内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病内科に常勤医が在籍し、神経内科、血液内科、膠原病内科は非常勤医が在籍しています。稀少疾患や常勤医不在であるサブスペ領域の研修も補完できるように他病院と連携できるように配慮しています。

将来の地域医療を支えるジェネスペを目指したい方、当院で専攻医研修をしてみたい方は

かがでしょうか。研修内容や研修後の進路などについては柔軟に対応したいと考えていますので、まずはぜひ見学にお越しください。連絡をお待ちしています。

お問い合わせは、当院の若手医師チームの窓口である森本医師まで、メールで連絡をください。

連絡先

〒617-8617 京都府長岡京市下海印寺下内田 101 番地

TEL : 075-955- 0111 (代) FAX : 075-954-8255

診療部長 中島智樹 e-mail : tomonaka624@yahoo.co.jp

消化器内科 森本泰隆 e-mail : morimoto.kpu@gmail.com (内科系レジデント窓口)